

おうちでやってみよう！ 「^{ひか}光る！ねんどキーホルダー」



ちっこうねんど ^{つか}を使って、^{くらやみ}暗闇で^{ひか}光るキーホルダーをつくります。

(^{しよようじかん}所要時間：^{やく}約^{ぶん}30分)

<^{ざいりょう}材料>

- 蓄光粘土 ^{みどりいろ}緑色 7g、^{あおいろ}青色 2g、^{むらさきいろ}紫色 2g

※今回は^{みどりいろ}緑色、^{あおいろ}青色、^{むらさきいろ}紫色の3色を使い、^{みどりいろ}緑色の粘土を土台として使いました。

- 粘土板 ^{したじ}※下敷きや^{いた}まな板でも^{だいよう}代用できます。

- 台所用三角コーナーのネット

- のし棒

- 型抜き (^{まるがた}丸型、^{かざ}飾り用の型など)

※今回は直径6cmの丸い型を使用しました。

※^{あつがみ}厚紙を^{まるめて}まるめてホッチキスで^{とめた}とめたものでも^{だいよう}代用できます。

- 竹ひご

- キーホルダーの^{かなく}金具

- ゼムクリップ

- ポンド



<^{かた}つくり方>

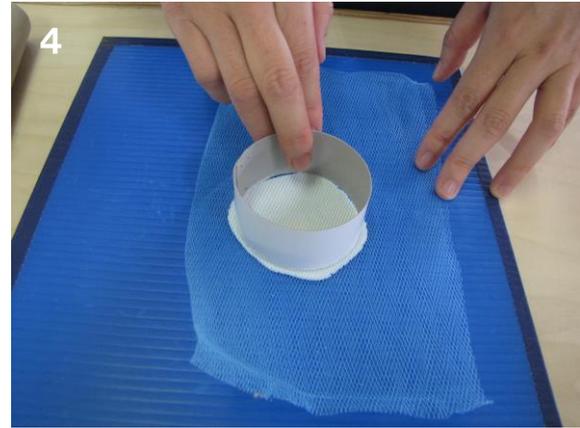
- ①ゼムクリップを「く」の字に^しひろげ、キーホルダーの^{かなく}金具に^ひ引っ^か掛ける。



おうちでやってみよう！ 「^{ひか}光る！ねんどキーホルダー」



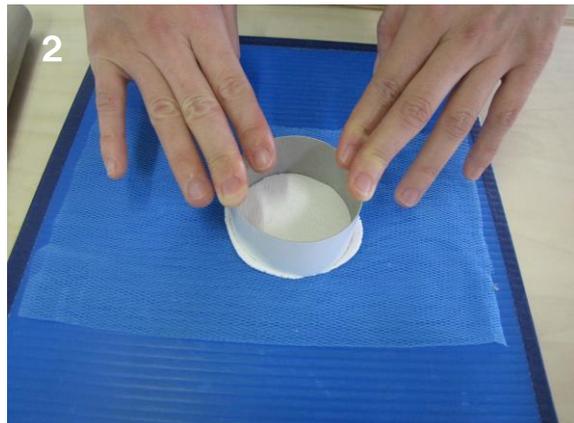
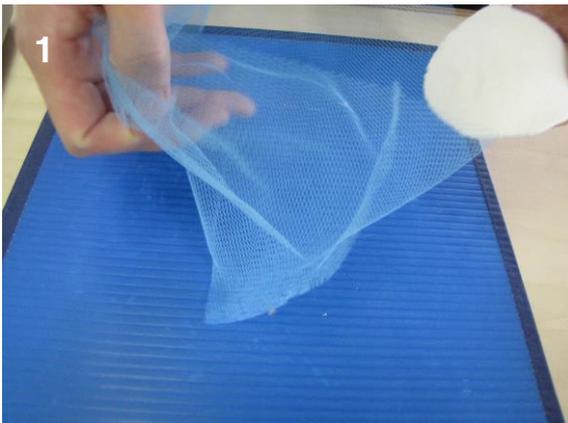
②キーホルダーの土台となる^{どたい}緑色の^{みどりいろ}蓄光粘土^{ちっこうねんど}を2つに分け、^わネットに入れ、のし棒で1mm程度の^{ほう}厚さになるよう、それぞれ丸く^{まる}のばす。



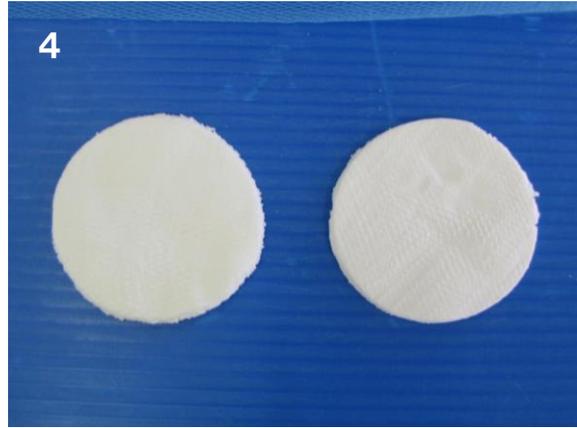
Point!

^{ちっこうねんど}蓄光粘土は^{ねんどばん}粘土板やのし棒にくっつきやすいので、^{ほう}手である程度^て薄くしてから^{ていどうす}ネット^{はさ}で挟んでのし棒^{ほう}でのばそう！
ときどき、ネットごとひっくり返すとくっつき^{かえ}防止^{ほうし}になるよ！

③のばした^{みどりいろ}緑色の^{ちっこうねんど}蓄光粘土をネットから^と取り出し、^だ丸型^{まるがた}でくり抜き、^ぬ円形^{えんけい}の粘土^{ねんど}を2枚^{まい}つくる。



おうちでやってみよう！ 「^{ひか}光る！ねんどキーホルダー」

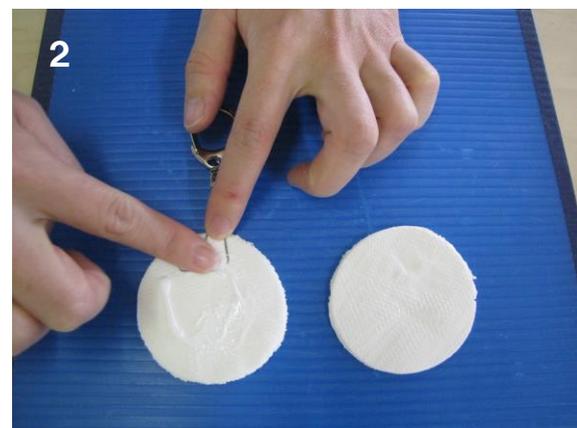


Point!
かた ^{しょうたい} 状態で ^{まわ} 周りの ^{よぶん} 余分な粘土を ^と 取り除くと ^{のぞ} きれいな ^{えんけい} 円形ができるよ！

④③の ^{えんけいねんど} 円形粘土 1 枚に ①を ^{まい} ゼムクリップのはしの ^{よぶん} 部分が 5mm ^{ていど} 程度は ^で み出るように ^お 置く。



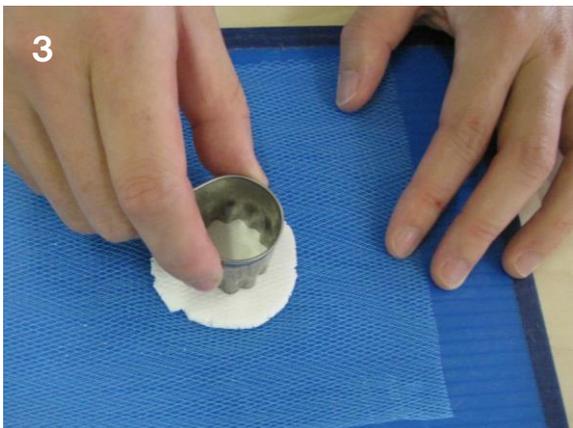
⑤④に ^ぬ ボンドを塗り、③の ^{のこ} 残りの ^{えんけいねんど} 円形粘土を ^{かさ} 重ね、くっつける。



おうちでやってみよう！ 「^{ひか}光る！ねんどキーホルダー」



◎^{あおいろ}青色や^{むらさきいろ}紫色の^{ちっこうねんど}蓄光粘土を^{うす}薄くのばし、^{かざ}飾り用の^{よう}型で^{かた}くり^ぬ抜く。



おうちでやってみよう！ 「^{ひか}光る！ねんどキーホルダー」



⑦⑤に⑥の飾り^{かざ}をボンドでくっつけ、竹^{たけ}ひごで^{もよう}模様をつける。



Point!
^{たけ}竹ひごで^{もよう}模様をつけるなど^{おうつ}凹凸がある^{ひか}とよりきれいに光るよ！

⑧^{かんせい}完成！



^{まるがたいがい}丸型以外にもおうちにある^{かた}型^{つか}を使って、アレンジしてみてね！

おうちでやってみよう！ 「^{ひか}光る！ねんどキーホルダー」



■お家^{うち}でつくるときに^{ちゅうい}注意すること

- 余^{あま}った粘土^{ねんど}は乾燥^{かんそう}しないようにラップ^{つつ}に包^つむなどして保管^{ほかん}しましょう。
- 不要^{ふよう}になった粘土^{ねんど}は燃^もえないゴミ^だに出^だしてください。

※^{ちいき}地域^だによってゴミ出^{ちが}しルール^{すま}が^{ちいき}違いますので、お住^{すま}いの^{ちいき}地域のルール^{したが}に従^{したが}って^{しより}処理^{しより}してください。